

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272501529		
法人名	社会福祉法人美土里会		
事業所名	美土里荘グループホーム 櫛		
所在地 (電話番号)	〒039-2504 青森県上北郡七戸町寒水70-1 (電話) 0176-62-5221		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月19日	評価確定日	平成21年11月30日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	13人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 ~ 27,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 冬期14,400 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 950 円		

(4) 利用者の概要(9月 15日現在)

利用者人数	18 名	男性	0 名	女性	18 名
要介護1	1 名	要介護2	10 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 85.6 歳	最低	67 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立七戸病院、医療法人柏葉会
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山林に囲まれ自然が多く、近くには数軒の住宅があり、近所への買い物等を通じて地域の方との交流が図られ、協力関係もできている。同じ敷地内には、同法人の特別養護老人ホームやデイサービスがあり交流もある。入居者の表情は穏やかで落ち着いた雰囲気があり、職員も明るくその表情が心地良く気持ち良く感じられる。全職員が法人理念に基づき『真心から他人を思いやる心』で統一したケアを行っていることが感じられる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	権利擁護についての勉強会を行い今後も理解を深めていく意向があり、研修等へも積極的に参加し情報を共有してケアを行っている。家族からの要望はノートを活用して、皆で共有し取り組んでいる。終末ケアについては口答のみでなく書面でも説明できている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、一人一人が意識して意見を出し合い全職員で取り組み、ユニット毎にまとめあげ日々ケアを行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	外部評価についても指摘事項等を振り返り共有し、日常の事も運営推進会議や市町村と連携を取りながら実施できている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時の他にも月1回は担当職員から手紙で近況を説明し、またホーム独自のアンケートを利用したりサービスの向上に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	同施設内の催し物へ参加したり、地域のイベントや買い物へ出掛けたりと地域との交流も図られている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理事長の信念である『忠恕の心』を基本理念とし、職員全員が思いやりの心を大事にして日々取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎年辞令交付式の時に、理事長が直々に全職員へ基本理念について説明し、全職員で共有できている。また『笑顔で明るく フットワーク軽く』をモットーとし、事業所内に掲示して常に意識しながら日々を過ごしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	同敷地内の特別養護老人ホーム内でイベントがある際は、出かけている。また、買い物等を通じて地域の方々との交流もある。実習生の受け入れも今のところは1名のみだが可能である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については、一度全職員が一人ひとり記入しそれをユニット毎にまとめて完成させている。指摘されたことについては時間をおかず改善に向けて取り組んでいる。全職員が一緒になって取り組む事ができている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催し、議題を事業所側から提示したり近況報告等を行っている。全員参加はなかなか出来ないが、意見交換をしホームの運営に反映している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じて、その都度市町村の担当者と連絡を取り情報交換している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>前回の評価以降に、職員全員で勉強会を開催している。必要な人には情報を提供したり活用できるよう働きかけている。</p>		<p>勉強会の継続の意向もあり職員の入替等もある為、今後も年に1回程度の勉強会開催を期待します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルはないが、普段から職員間で話し合い、虐待防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に重要事項説明書をもとに管理者が説明している。また、管理者不在時でも職員がわかる範囲内で対応し、詳細については後日管理者より連絡している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1ヶ月に1度担当者から本人の状態を手紙に書いて報告している。また、面会時にも報告し、必要に応じて電話での連絡もしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時等に要望を受けたり、ホーム独自のアンケートに回答してもらう等し、サービスの向上に努めている。利用者同士のトラブルに関しては、職員が間に入るようにし解決に繋げている。苦情・相談があればノートを活用して職員間で共有しケアに臨んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動がある際は、きちんと利用者説明している。十分に引き継ぎを行いダメージを防いでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に研修を開催している。外部の研修にも積極的に参加しており、研修参加後は必ず報告会を行い、職員全員で質の向上に取り組んでいる。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>全国の事業所が集結する事例研究検討会に参加し、他事業所と意見交換・情報交換を行っている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の事前訪問や見学の際に、自宅で使用している馴染みの物の持ち込みについても説明し働きかけている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に作業をしたり、利用者から教えてもらう等し、お互いに支え合う関係を築いている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々接している中から、思いや意向を見出したり、家族からも聞き取る等し本人の意向にそえるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族と話し合いながら介護計画を作成している。作成後は家族へ確認をとっている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月毎に見直しをし、必要時は随時変更している。一人ひとりがその人らしく生活できるよう要望を含めて話し合い計画書を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院の付き添いや送迎、買い物など要望に応じて対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際は、事業所に対応し、家族へ報告している。入院の場合は、家族に同伴してもらっている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看護師不在の為、緊急時は病院受診している。終末ケアは行っていないことを家族へ十分に説明している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報となる書類は事務所で管理している。また、その人にあった声掛けをさりげなく行っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大体の1日の流れはあるが、その人に合わせて支援できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備等は一緒に行っていなかったが、一緒に食事できる昼食の時間を大事にしている。食器拭き等は役割が決まっており、当番の利用者が率先して行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週に2回は入浴出来るように組んでいる。希望時はその都度入浴できるよう臨機応変に対応している。夜間希望時は状況により対応できる体制ができています。拒否する利用者には職員を交代して誘ったりスムーズに入浴できるよう働きかけている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者同士役割の確認を行う等、生き生きしている表情が見られた。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望に沿って買い物や美容院へ出かける等、その人に合わせ気分転換を図っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしていない。身体拘束に関して勉強会を行い、職員皆で周知徹底してケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>のれんに鈴を付ける等し鍵をかけない対応をしている。外に出たい時はさりげなく声をかけ、本人が満足するまで一緒に散歩に出かけたり、優しく見守りしながら自由に出かけることができる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>昼夜を問わず定期的に訓練を行っている。日中の避難訓練では地域との連携も図っており、連絡体制も整っている。非常食等については隣接している施設内に準備されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分量のチェックを行い、個々にあった支援ができています。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し、いつでも確認できるようになっている。感染症対策委員会主催の勉強会も行っている。食前食後の手洗い消毒も日課になっており利用者から進んで行う状況で徹底しており、習慣になっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感があり、明るい雰囲気になっている。また、利用者と一緒に作品を作成し飾っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い慣れている物や馴染みのある物等を持参してもらっている。一人ひとりに合わせてその人らしい空間となっている。</p>		

 は、重点項目。